

ALPS 処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるため の漁業者支援事業 実務者説明会

宮崎県漁連漁政部は4月15日（月）、水産会館4階第一研修室において、「ALPS 処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業に係る実務者説明会を開催した。

経済産業省が創出したこの事業には500億円の基金が設立され、廃炉に至るまでの長期間にわたり4つの支援事業（高付加価値等支援事業、省燃油活動等支援事業、省資源・利用効率化等支援事業、省エネ機器等導入支援事業）により、ALPS 処理水の海洋放出で不安を覚える全国の漁業者を支援するものとなっている。

今回の実務者説明会は、事業を管轄する一般社団法人漁業経営安定化推進協会（漁安協）よりWEB形式にて、事業実施期間終了後の実施状況報告の手順について説明が行われた。

事業の実施主体が地域水産業再生委員会となっていることから、ALPS 基金事業を実施している地域水産業再生委員会関係者（県・市・町の職員、漁協職員）が参加し熱心に説明を聞き入っていた。